山行に行ったら発行

しろうまニュース 7

2013

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会

夏山直前です。

7月山行

2013年7月21日（日）
箱根

金時山

（標高 1212.5 m）

幹事　上西、武蔵

4月より会山行が隔月開催となり、しかも夏山直前山行ということで、それなりに標高差があって練習になる山がないかなぁと思案。一方で、最近のサポート不足や、自分が幹事をやるのが8年ぶり！ということを考えると、過去に行ったことがある山から候補を検索。結果、会で1995、2000、2005年に登ったことがある「金時山」

に決めました。

金時山は箱根山の北西部に位置する日本 300 名山の一つ。かつてはその山容から猪鼻嶽と呼ばれていたが、江戸時代に坂田金時の故郷が足柄山であるとした「金太郎伝説」ができ、そのころから「金時山」と呼ばれるようになった。

以前登った時は参加人数がそれなりにいたので、往復貸切バスを利用していましたが、今回は人数が読めなかったため、小田急箱根高速バスを利用しました。新宿駅から入山・下山口までノンストップで往復できたので、幹事としては実に楽。ただし乗合なので、バスの中で山行の説明や自己紹介などをできないのが欠点。今回も座席が離れてしまい、事前説明ができずに出発時はドタバタしてしまいました。事前予約はしていましたが、切符購入時に障害者手帳が必要となるため当日の乗車直前に購入となり、余裕がありませんでした。できれば、手帳のコピーを会として保管させていただけると、切符購入がスムーズになるかと思います。

参加者は 24 名でうち初参加 2 名。当日に体調不良で 1 名キャンセルがありましたが、集合場所にふらりと現れた高橋良治さんが加わり、予定通り 8 名× 3 班で出発しました。金時山登山口には公共トイレとローソンがあり、下山がここならビール買えるのに、と嘆く人も。天気はどんより、それほど暑くないのが救い。

登山道は前日までの雨の影響か少しぬかるんでおり、滑りやすかったため全体としてペースがゆっくりとなりました。しっとりとした樹林帯をひたすら登り、

矢倉沢峠に。見えるはずの山頂はガスに隠れ。。。 山頂への登り、振り返ると箱根方面の展望が開け、温泉街が小さく見えます。箱根神社分岐からは段差がきつい急な登りとなり、木の根やロープにつかまっての登りもありましたが、予定よりも 45 分遅れで何とか全員山頂に。

山頂からは富士山の絶景が見えるはず、でしたが案の定ガスの中。幹事（武蔵）の行いが悪いばかりに、、、すみません。山頂のベンチ・テーブルで昼食を食べていると、茶屋のおばちゃんが「営業用って書いてあるのに、使うんならなんか買っていかないのかねぇ。」と文句を。あ、もしかしてあの「金時娘」？... 娘？

各自、茶屋でお買い物しました。

集合写真後、20 分遅れで下山開始。下山時もペースはゆっくりで、このままだと予約していた帰りのバスに間に合わないかもと思い、少しペースアップしていただきました。無線連絡で、先着の班から「活きのよい」応援部隊に戻って来てもらい、後続の班を手伝ってもらったのでペースアップ。やはり低山でも無線はあったほうがよいですね。

最後のほうで、疲労で歩くのが辛くなった障害者の方を少し背負って下りました。背負子が無かったため直接背負って下りましたが、時間に余裕があればザックとストックで簡易背負子を作ったり、シュリンゲ（おんぶ紐）で固定したりできればよかったかと思います。昔は会でもいろいろと工夫していましたが、今後もそれらのやり方を会で共有化しておいた方が良いですね。

下山した金時神社入り口に酒は無く、予定のバスに乗って新宿へ。渋滞のため 1 時間遅れで到着し、解散となりました。半分はそのまま反省会へ。。。 みなさん、お疲れ様でした。

今回は標高差約 550m を 1 日で往復しましたが、これは今年の夏山で予定している麦草峠～天狗岳の標高差（約 530m）よりも高かったんですよね。あまり余裕がなかった分、メンバー全員の頑張りで何とか時間通り、無事に下山できたことは、夏山に向けて自信になればと思います。夏山山行、頑張って下さいね！（上西）

■コースタイム

08：00 新宿発 (高速バス)
｜
10：00 金時登山口
｜
10：25 発
｜
10：27 登山道に入る
｜
11：20 矢倉沢峠
｜
11：29 発
｜
13：15 金時山山頂
｜
13：55 発
｜
14：40 金時神社分岐
｜
15：50 金時神社（下山）

車いすを降りないプチハイク　2

イタリア大使館別荘記念公園

栃木県日光市。いろは坂を登り、華厳の滝の方へも竜頭ノ滝の方へも行かないで、中禅寺湖歌ヶ浜を目指す。

世界遺産日光の寺社は山の中にあって当然バリアフリーではない。特に東照宮は、砂利と階段で車いすに乗ったままでの鑑賞は不可能に近いが、いろは坂を登った先にある中禅寺湖付近は車いすにやさしい観光地である。

中禅寺湖周辺には車いすが入れる歩道や木道が整備され、車いすに対応した公共トイレも多い。いろは坂始点から湯本までの国道120号沿いには、馬返し、自然博物館（華厳の滝）、歌ヶ浜駐車場、イタリア大使館別荘記念公園、中禅寺湖畔ボートハウス、竜頭の滝、赤沼茶屋、赤沼自然情報センター、日光湯本ビジターセンターといった順で快適トイレが設置されており、まずトイレで困ることがない。

歌が浜駐車場にある車いす対応トイレ

公園内の車いす対応トイレ

イタリア大使館別荘記念公園は中禅寺湖スカイラインに入る手前、歌ヶ浜駐車場から15分程歩いた先にある。その行程はほぼ一般車両進入禁止の舗装道で、段差はない。多少の勾配はあるが、車いすでのアクセスが十分可能だ。

公園内には車いす用のトイレもあり、湖畔を眺めながらゆっくり過ごすには格好の場所である。

園内の建物は、昭和3年にイタリア大使館の別荘として建てられ、平成9年まで歴代の大使が使用していたもの（とちぎ観光物産ガイド http://www.tochigiji.or.jp/647.html）で、避暑地としてのたたずまいを今も醸し出している。もちろん建物は現在、観光客用に解放されている（室内は車いす向きではない）。

公園からは阿世潟、千手が浜へと歩道がのびているが、ここから先は車いすで入っていくのは難しいだろう。山の装備が必要だ。

アクセスだが、公共交通ではJR日光または東武日光駅からバスとなる。が、このバスがクセモノで、ヘアピンカーブが続くいろは坂は、揺れが激しく危険であるとかなんとかの理由で車いすごとの乗車が難しい場合がある。またバス停からはかなり歩くので、自家用車の方が楽ではある。

右奥が旧別荘

information

■夏山情報

日程　　：8 月 24 日（土）～ 26 日（月） 2 泊 3 日（全小屋泊）
参加費用：3 万円
場所　　：天狗岳（ 八ヶ岳、東天狗岳 < 標高 2,640m>）
集合　　：8/24　**8 時 新宿駅西口**（詳細は別途ご連絡します）
宿泊先　：高見石小屋（24 日泊　▶0467 -87 -0549）
　　黒百合ヒュッテ（25 日泊　▶090-2533-0620）
行程　　：

8/24　8 時新宿出発（貸切バス／中央高速）→高見石小屋（泊）15 時着予定
8/25　6 時高見石小屋発→黒百合ヒュッテ（荷物デポ）→黒百合ヒュッテ (泊)
8/26　6 時黒百合ヒュッテ→白駒池入口 12 時発（貸切バス）→ 13 時もみの湯（温泉・昼食）→新宿駅（解散 19 時頃）

夏山しおり表紙より

■次回山行案内（10 月山行）

日時　：10 月 13 日（日）
場所　：未定
※詳細はホームページをご覧ください。

■ 7 月山行の写真は狩野さん、小寺さんからいただきました。ありがとうございました。掲載された記事についての苦情・お問い合わせ、記事掲載依頼等お待ちしております。お気軽にご連絡ください。

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会
しろうまの会
2013 年 8 月 17 日発行
（通巻 No. 2）

ご連絡・お問い合わせ（お気軽にお問い合わせください）：shirouma@sd5.so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.shirouma.net
facebook：https://ja-jp.facebook.com/shirouma4620